

御不在となりましたので、暫く私が太陽課の事務を代行いたします。黒點御報告、その他の御報告等、全て下記宛にお願いいたします。但し黒點報告用紙、太陽面経緯度圖等の御請求は、直接、本會事務局(滋賀縣堅田)の方へお願いいたします。(進)

滋賀縣草津町大路井420 山本 進

## 會員よりのたより

### 鳥か？ 星か？

拜啓(中略)扱去る八月3日20時15分頃、11種反射鏡にて6ミリ・アイピース(166倍)使用、十日月の月面観測中、突然、月の東邊より西方へかけて10秒位の黒點が晴の海、アペナイン山脈の北部、雨の海を、4,5間にて、輝く月面を通過致しました。これは只の黒色の圓點で、模様は何も認められず、地球の自轉と同一の方向に進んだわけです。

右簡單乍ら報告します。草々

八月五日

大阪 田 中 清

### 東京の古畑氏より

啓上

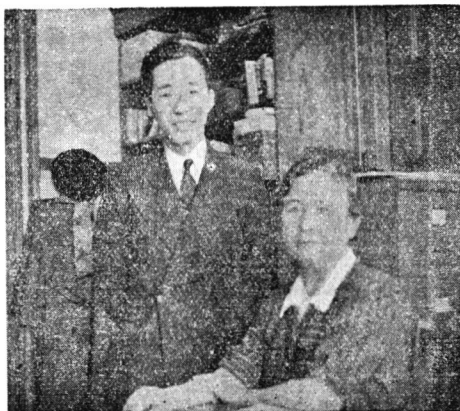
御手紙有難く拜受致しました。私事歸國後直ぐ御挨拶申上ぐべきところつい御無沙汰申上げ恐縮に存じます。

先月より當所へ勤務致し居ります。何卒、今後とも御鞭撻の程御願申上げます。

ミス・キャノンの死去は先月知りまして驚きました。天界への件承知致しました。成る可く早く御届け申上げるつもりです。

同封の寫眞、リック天文臺のMiss Calvertが、先先のことを色々と昔話して居りましたから、一部御送り申上げます。

元氣でやつて居られました。



古畑氏とミス・カルブート

取急ぎ御返事申し上げます。

八月十三日

古 畑 正 秋

## 寫眞に添えて

前略

同封で小生の器械の寫眞送ります。(口繪参照) 不出来です, 御笑覽迄。寫眞中右は 16 糎鏡で, 7 月末完成致しました。左は 75 糎鏡で, 現在太陽黒點を主としてをります。16 糎鏡も, 昨年秋以來資材入手困難の處, やうやく完成致した次第です。小生の觀測所は, 前が深川清澄公園で, 裏は仙臺川で, 東京としては夜は暗いほうで, 星を觀測致すには充分で, 平均 5 等半位までは見られます。たゞ, 問題になりますのは, 夏期の時, 裏が川なので, 水蒸氣が昇發しますので, シーイングが悪くなるのでこまります。16 cm 反射經緯儀は, 東京石原氏製で, 鏡は兩鏡共に木邊鏡です。目下遊星面, 彗星等に専用とし, 今秋は日月蝕と共に, 火星を大いに觀測するつもりです。

保 稱 善 太 郎

### 正 誤 表

#### 第243號(昭和16年九月號)

	正	誤	正
第274頁	中央, 33計算圖表	Nonograph	Nomograph
第289頁	九月の流星群の表, 附近の星	a Aud	a And
第294頁	下より6行目	一日の觀測なしに	一日の欠測なしに
〃	下より4行目, 寺崎明氏	18 <sup>mm</sup> 反射	15 <sup>cm</sup> 反射(使用口径18 <sup>mm</sup> )
〃	下より3行目	岩城肇君	岩城肇君

#### 第242號(昭和16年八月號)

第254頁	3行目	(吾々が・見る・)	(吾々が・見る・)
第264頁	正誤表, 下より5行目, 正	中村易齋	中村煥齋

(第348頁よりつゞく)

(天界新知識)

### ロス614星の正體

ロス目録中の614番星は11等級の星で, 比較的に太陽系に近いものであるが, マコミック天文臺のロイル D. Reuhl 氏が65糎望遠鏡で81枚の寫眞を撮り, 其の固有運動を研究したところ, 此の星は, かのシリウスやプロシオン等の如く, 暗黒伴星を有つてゐて, 固有運動が13年を週期として變動してゐることが知れた。そこで1896年以來アルジェヤやハーバードの天文臺で撮つた材料等をも利用し, 徹底的に研究した所, 週期は14年, 視差は0".26(即ち12.5光年), 重心を中心とする橢圓軌道の半長軸は0".28(即ち, 1.1天文單位)と知れた。又, 光度は, 肉眼光度が11.1, 寫眞光度が12.5, 分光型はM2e, 従つて, ボロメータ光度は11.5となり, 質量は太陽の0.22となる。

又, 暗黒伴星の軌道の半長軸は約4天文單位であり, 其の質量は太陽の0.1である。故に, 此の星は今まで最小質量の恒星として知られてゐたクリウゲルの60番B星(質量は太陽の0.14)よりも小さく, 全く新レコードである。